



学校給食事業

町民への説明と代替手段検討を

説明は十分、代替手段は検討する

問 町として学校給食実施の意思があるかないか問う。また実施できない原因は。

佐藤町長 給食の要望が多いことは十分に認識しており実施する方針に変わりはない。現時点で凍結解除できない理由は、町民グラウンドを仮設住宅に使用しているため、建設予定地を生徒の授業や部活動で使用していることなど。

また凍結原因ではないが、保護者から集める給食費とは別に、調理配送費用などで毎年約8千万円の維持管理費が必要。**問** つまり実施の意思はあるが、建設地の問題があり、建設地を変えたと配送費がかさむため実施できないと捉えた。なら

田老賢也議員
(無所属)

ば町がすべきことは大きく2つある。

1つ目、まず何より大切なのは有権者・保護者に説明すること。ここが不十分なため、議員に多くの要望が寄せられ、何度も議会を取り上げられる。住民説明会の開催でも、児童・生徒経由での資料配布でも良い。建設地と予算の問題ですぐには実施できないとしつかり説明すれば、保護者は分かってくださるはず。

佐々木教育次長 町民への説明は、議会での回答が何度も議会だよりに掲載されており、不十分とは思わない。

問 2つ目、従来計画をそのまま実施できないのであれば、代替手法を検討しているか。人口減少が続く中での給食センター建設は負担も大きく、子供のための給食が、将来の税金負担として大きくのしかかることになりかねない。民間委託している地域もあり、宮古市や大槌町の施設を利用させてもらい費用を抑える案もある。このような手法の検討は。



みんなで食べるお弁当はおいしいね！(船越小学校のお弁当の時間)

教育次長 代替手法に関しては、町の給食センターで作ったものを子供たちへ届けるといいう方針は変えていない。

問 議会だよりに掲載されているので十分と言いますが、それでは情報が届か

ない人も多い。直接説明する機会を設けなければ状況は変わらない。直接説明の機会を設けるべきである。

また町で作ったものを子供へ届けるとのことだが、委託なども町で作る

ことに変わらない。今の計画が無理ならば代替手段を検討すべきと思うが。

教育次長 従来計画の継続で考えているが、代替手段についても検討させていただく。

その他の質問

◆ 財源確保のためのこれまでの取り組みと今後の予定は
◆ 震災後に当町で操業の意思があった企業の誘致活動の経緯と実現に至らなかった原因、および今後機会を逃さないための取り組みは

一般質問